様式第２号１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人　守末学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	服装科	夜・通信	１，８０７時間	１６０時間	
	ファッションビジネス科	夜・通信	１，６８８時間	１６０時間	
	ファッションデザイン科	夜・通信	１，５６３時間	１６０時間	
	ファッションスペシャリスト科	夜・通信	１，０２０時間	８０時間	
	二部服装科	夜・通信	９００時間	９０時間	
	ファッション技術専攻科	夜・通信	１，３５０時間	１３５時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人　守末学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） （１）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （２）作成した授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経てから実施・公表。 （３）授業計画（シラバス）はホームページにも掲載。
授業計画書の公表方法　https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html
２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） （１）科目ごとに評価方法を設定。（課題提出、試験実施、授業態度、出席状況等） （２）成績はすべて点数で評価する。 （３）６０点以下は単位取得を認めない。ただし、出席日数や努力評価は上乗せ部分として加算する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 第８条　授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の成果履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし出席時数が授業時数の３分の２に達しない者は、その課目について評価を受けることができない。 上記に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法を学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） （１）履修すべき教科の出席時数が法定時数以上であること。 （２）履修すべき教科の学年末評点が「６０点」以上であること。 （３）履修すべき教科の出席時数が、本則に定める授業時数合計に対しは２／３以上であること。 ※交通機関の運休、遅れ、インフルエンザ、忌引きについては欠席扱いとしない。 （４）原則として既定の制作課題の１００％の提出 ※１００％に満たない場合、卒業判定会議において判定。 （５）学納金完納が確認されていること。 上記を学生並びに保護者に公表し、卒業認定会議において認定された者が卒業できる。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人　守末学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公表 https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
服飾・家政		専門課程	服装科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	２１００単位時間／単位	３８８単位時間/単位	単位時間/単位	１７１２単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			２１００単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
３０人	１５人	０人	１人	１０人	１１人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （１）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 （２）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（１)クラス担任制(２)個別相談･指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(４)個別相談(５)中途退学防止のための取り組み

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
８人 （100%）	０人 （　　0%）	６人 （　　75%）	２人 （　　25%）
（主な就職、業界等） 販売職、縫製職			
（就職指導内容） （１）求人案内 （２）個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定中級取得、パターンメーキング技術検定２級取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２２人	４人	１８．２%
（中途退学の主な理由） 進路変更。精神的理由。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①入学前の情報提供（具体的な専門学校生活を案内）②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案（③～⑤の間に転科説明）		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションビジネス科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	２１００ 単位時間／単位	５１３単位時間/単位	単位時間/単位	１５８７単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			２１００単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	１３人	０人	１人	１０人	１１人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （１）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 （２）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（１)クラス担任制（２)個別相談･指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)（４)個別相談（５)中途退学防止のための取り組み

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１１人 (100%)	０人 (　　0%)	６人 (　　54.5%)	５人 (　　45.5%)
（主な就職、業界等） 販売職、スタイリスト、総合職			
（就職指導内容） (１)求人案内 (２)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッションビジネス能力検定２級取得、ファッション販売能力検定２級取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２４人	８人	33.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更。精神的理由。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に		

転科説明）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
服飾・家政		専門課程	ファッションデザイン科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	２１００単位時間／単位	３４４単位時間/単位	単位時間/単位	１７５６単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			２１００単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
３０人	２２人	０人	１人	１０人	１１人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （１）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 （２）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（１)クラス担任制(２)個別相談･指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(４)個別相談(５)中途退学防止のための取り組み

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１０人 (100%)	５人 (　　50%)	４人 (　　40%)	１人 (　　10%)
（主な就職、業界等） 販売職、総合職、パタンナー			
（就職指導内容） (１)求人案内			

(２)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導
（主な学修成果（資格・検定等）） パーソナルカラリスト検定２級取得、色彩検定２級取得
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３１人	５人	16.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更。精神的理由。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションスペシャリスト科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
１年	昼	１０５０ 単位時間／単位	１２０単位時間/単位	単位時間/単位	９３０単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			１０５０単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１０人	４人	０人	１人	１０人	１１人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （１）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 （２）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準

（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（１)クラス担任制(２)個別相談･指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(４)個別相談(５)中途退学防止のための取り組み

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
８人 （100%）	０人 （　　0%）	８人 （　　100%）	０人 （　　0%）
（主な就職、業界等） 販売職、縫製職、商品企画、美容系			
（就職指導内容） (１)求人案内 (２)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定上級取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１０人	２人	20%
（中途退学の主な理由） 精神的理由。		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
服飾・家政		専門課程	二部服装科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	夜	１０８０ 単位時間／単位	１８０単位時間/単位	単位時間/単位	９００単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位

			１０８０単位時間／単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
４０人	２人	０人	１人	４人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （１）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 （２）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（１)クラス担任制（２)個別相談･指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)（４)個別相談（５)中途退学防止のための取り組み

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
５人 (100%)	１人 (　20%)	０人 (　0%)	４人 (　80%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） (１)求人案内 (２)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

１０人	２人	20%

（中途退学の主な理由）
仕事の都合。

（中退防止・中退者支援のための取組）
①入学前の情報提供（具体的な専門学校生活を案内）②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案（③～⑤の間に転科説明）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
服飾・家政	専門課程	ファッション技術専攻科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	夜	１６２０単位時間／単位	２７０単位時間/単位	単位時間/単位	１３５０単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			１６２０単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
３０人	２人	０人	１人	４人	５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。
（１）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。
（２）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。

成績評価の基準・方法

（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。

卒業・進級の認定基準

（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。

学修支援等

（概要）（１）クラス担任制（２）個別相談･指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（４）個別相談（５）中途退学防止のための取り組み

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他

２人 （100%）	１人 （　50　%）	０人 （　　0%）	１人 （　　50%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） （１）求人案内 （２）個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２人	０人	０％
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①入学前の情報提供（具体的な専門学校生活を案内）②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案（③～⑤の間に転科説明）		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
服装科・ファッションビジネス科・ファッションデザイン科・スタイリスト科	160,000 円	480,000 円	500,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 180,000 円 教科書・洋裁用具代 120,000 円 教材費・研修費 190,000 円
ファッションスペシャリスト科	160,000 円	480,000 円	500,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 180,000 円 教材費・研修費 190,000 円
二部服装科	40,000 円	175,000 円	102,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 50,000 円 教科書・洋裁用具代 41,000 円
ファッション技術専攻科	40,000 円	175,000 円	60,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円

				施設維持費 50,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b）学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
宮城文化服装専門学校(以下「学校」)は、ファッション業界の社会的・経済的地位の向上を図り、業界の健全なる発展と、良質なサービスを利用者に提供することで人々の豊かな社会生活に貢献することを目的として、業界に求められている質の高い即戦力となる人材育成を行う。本校の教育理念である、「創造性の涵養、企業から必要とされる実践力の養成、知識と技術及び教養の修得、感謝と思いやりのある人格の形成」を具現化することを目途とし、教育活動を実施する。 企業や卒業生と連携し、学校の目的と教育理念に沿い、計画(授業・行事等)への取組の達成状況、学校運営への取り組みが適切に行われたかについて評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。評価結果と改善の取組はホームページに掲載し社会へ公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
馬渕株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
オズファインクロス	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ttps://www.miyagibunka.ac.jp/info.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ttps://www.miyagibunka.ac.jp/info.html

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H104391010090
学校名（○○大学 等）	宮城文化服装専門学校
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人　守末学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		23人	20人	43人
内訳	第Ⅰ区分	16人	14人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				43人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号、第４号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	－

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考） 全員自己都合退学	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	0人	0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。